

1 国語に関する調査

【特長】

- 文の中で、送り仮名に注意して漢字を正しく書く力が身についている。日頃からの漢字と仮名を適切に使い分けることを意識した、学習の成果だと考えられる。
- 複数の文章を読み、目的に応じて、中心となる語や文を見つけて要約することができる児童が多く見られた。

【課題】

- 目的や意図に応じて、自分の考えをまとめて書くことに課題が見られる。書き手が伝えたいことの中心となるキーワードを押さえ、自分の考えと組み合わせながら書く活動を多く取り入れる必要がある。
- 相手や場面に応じて適切な敬語を使うことに課題がある。児童が敬語についての理解を深められるよう、学校行事や異学年との交流等を通して、適切な話し方ができるような活動を増やす必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる児童が多く見られた。
- 高さが等しい三角形についての底辺と面積の関係を基に大小を判断する問題では、比較的正答率が高かった。授業で三角形の特徴を、子どもたちに説明させていたことが正答率の向上につながった。

【課題】

- 平行四辺形やひし形、台形などの名前と形は一致するが、それぞれの図形の特徴と結び付けることに課題が見られる。そのため、比較することで図形の特徴を見出す活動を取り入れる必要がある。
- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうか課題が見られる。そのため、様々な表を活用し表のどの部分に着目するかを考え、一つ一つの項目について判断できる活動に取り組む必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 学習の中でタブレット端末などの ICT 機器を使うのは、勉強に役立つと答えている児童が多く見られた。日頃の授業で調べ学習やポスター作り、作品提出などでタブレット端末を活用する機会を増やした結果と考えられる。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、取り組んでいると答えた児童が増えた。

【課題】

- 学習内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができると回答した児童が少なかった。そのため、既習事項を意識した系統的な指導が必要である。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、集団で話し合う活動に取り組んだりしていると答える児童が少なかった。友達の意見と比べたり、自分事として考えたりするなど話し合い活動の充実をさらに図る必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 基礎的な知識が確実に定着するよう、インプットだけでなく、アウトプットを重視した学習活動を展開していく。
- 全員が理解できることに重点を置く。学び合い活動を通して、自分の考え方を広げたり、深められたりするように取り組んでいく。
- 家庭学習では、自分で学習計画を立て、自主的に取り組むようにしていく。そのために、学校で理解できた点とできなかった点を明確に児童が把握できるような授業展開を行う。
- 授業で学んだことを他教科や実生活で生かせるような授業展開を行う必要がある。そのために、カリキュラムを見直していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 読書が好きな児童が比較的多く見られました。インターネットは、情報を習得しやすく便利ですが、調べ学習などの際には、インターネットの情報だけではなく、本を読んだり、借りたりするために学校図書館や地域の図書館を利用してほしいと思います。
- 自分で計画を立てて勉強することに課題が見られました。ご家庭で、お子様と一緒に学習の過程や結果を振り返り、次の学習に生かせるように協力して取り組んでほしいと思います。
- 地域の行事を楽しみにしている児童が多く見られます。地域の行事は、児童にとって視野を広げるよい機会ですので、地域の方にも積極的に参加していただけるようご協力をお願いします。